

まちかどトーク（佐野地区）議事要旨

日時：令和8年7月1日（水）19:30～20:45

場所：佐野地域交流センター

参加者：53 人

1 市長あいさつ

2 市政に関する説明

「新高岡駅の利用拡大に向けた取り組み」と「城端線・氷見線の再構築」について総合交通課から説明の後、質疑応答

参加者

スポーツコア手前にある城端線の踏切は、列車が新高岡駅に止まっている間は閉まったままで、歩行者が長く待たされている。再構築事業で運行本数が増えたと、今よりも閉まっている時間が延びるのではないかな。

総合交通課

新しい車両は加速性能が上がるため、一般的に踏切での待ち時間は短くなる見込み。踏切への影響などは、今後の再構築事業の中で、あいの風とやま鉄道や富山県と情報共有し、協議していきたい。

参加者

新高岡駅に止まる列車が増えれば、その分、踏切が塞れてしまうと思う。そこまで理解して進めてほしい。

市長

本数が増えて喜ぶ人がいる反面、乗らない人にはそうした懸念がある。抜本的な解決策があるかは別として、公共交通の再構築会議の場で、地域の声として必ず伝える。

参加者

将来、スポーツコアに新体育館ができる計画がある。グラウジーズの試合などが開催されれば、人が大勢来ると思うが、最寄りの城端線「二塚駅」が現状でもかなり見劣りしている。城端線新高岡駅のような構造に整備できないかな。

総合交通課

二塚駅の活用については、抜本的に変えるのは難しいかもしれないが、今後の検討材料にしたい。

参加者

サッカーの県大会の決勝でも、スポーツコアの駐車場がいっぱいで、大勢の方がテックノドームに車を止めて歩いている。スポーツコアの北側には田んぼがたくさんあるので、そちらに体育館を作れば、駐車場の問題も解決するのではないかな。

市長

今度現地を見に行きたい。

参加者

市のシンボルである市民会館や市民体育館の整備が遅れているように感じる。城端・氷見線等の利用促進も大事だが、まずは核となるメインの施設をしっかりと交渉して整備していくのが順序ではないか。今の話を聞いていても高岡の将来に「ワクワク感」がない。市民を巻き込むような夢のある事業を考えて、過去の流れを打破してほしい。

市長

おっしゃる通り。だからこそ、ワクワクする拠点の1つとしてあの場所に体育館を持ってきて、公共交通を使ってスポーツを観に来た人が、そのままイオンで買い物や映画を楽しめるような流れを作りたい。新幹線の駅から歩いて行ける体育館は全国的にも珍しい。単なる体育館ではなく、周辺のイオンや済生会高岡病院などと連携し、人が集まる呉西地区全体の重要な拠点として新しいまちづくりを進めたい。

参加者

コミュニティバスが廃止になり、路線バス事業者も運転手不足などで危機的な状況にある。単純にコミュニティバスを復活させるのではなく、岐阜市のように市民の協力のもとで利用を前提として守る「地域に根ざした高岡型・出町型」のバスを検討してほしい。

市長

行政がバス会社に運営を丸投げするのではなく、一緒になって一部の地域からでも新しい取り組みを始めたい。この夏には、新高岡駅と高岡駅間において、自動運転の搭載に向けて開発が進んでいるEVバスの試験運行を予定している。

また、今年4月から65歳以上を対象とした定期券「ゴールドパス」を通常価格から7割引きで販売する実証実験を開始した。すでに昨年度の売り上げ枚数を超える勢いで、路線バスだけでなく世界遺産バスなどにも使える。とにかくバスに乗ってほしい。

3 意見交換

「高岡市人口ピラミッド」を基に、市長より説明の後、意見交換

参加者

庄川の上流（高山市）に産廃施設ができる問題で、南砺市長が反対表明をした。富山県にはイタイイタイ病の歴史もある。高岡市は呉西で一番大きな市であり、影響も大きいので、計画を承認する岐阜県知事に対し、高岡市としても早急に反対や懸念の意思表示をしてほしい。

市長

非常に大事な問題。数ヶ月前、高山市長が砺波市に来られた際、周辺の市長（砺波・射水・南砺・高岡）で話し合いをした。今後も周辺4市で歩調を合わせ対応していくことが必要だと考えている。

参加者

5年ほど前に破産して放置されているレジャー施設「アラピア」の広大な建物や駐車場について、行政の力で県外の業者を誘致したり、災害時の一時避難所として再利用したりする案はないか。

市長

民間施設なので市がそのまま施設にしたり民間にどうこうさせたりするのは難しい問

題。入札にかけられた際も買い手がつかなかったと記憶している。ただ、防犯上の懸念などは市役所内で情報を共有したい。

参加者

アラピア周辺は、空き巣未遂被害等もあり、防犯上、非常に好ましくない状況。現在の所有者は東京の会社。行政が直接支援できなくても、佐野連合自治会長と市長の連名で「今後活用する予定があるか」の質問状を出すことはできないか。お金もかからないし、地域の安心安全につながる。

市長

貴重な提案。持ち帰ってできるかどうか含めて検討したい。

参加者

高齢者も大事だが、働き手や若い学生、子どもなどの人口を増やせばもっと高岡がワクワクする。先ほどの交通や体育館の話のほかに、市長が考えている「高岡をチェンジする」アイデアがあれば聞きたい。

市長

高岡が持つ歴史的資産を磨くこと。例えば古城公園は県内唯一の「日本百名城」であり専門家も絶賛している。また、城端線と氷見線が直通化すれば、万葉線と面する高岡駅の構造を変えて南北の分断を無くせるかもしれない。

さらに、若い世代を呼び込むために「探究教育（詰め込みではなく自分で課題を解決する教育）」を充実させ、教育移住したくなる仕組みを作りたい。

参加者

過去に2つ提案している件の進捗を聞きたい。

まず、大学の誘致について、法科大学がなくなる高岡に、石川県小松市の「小松大学」のような市立の大学を創設できないか。若者が集まり活性化につながる。

次に、子どもの通学の安全について、統廃合された横田小学校（現・高岡西部小）の一部の地区では、小学1年生が1人で路線バスを使って通学している。スクールバスを導入するなど、子どもの安心安全のためにもう少し踏み込んだサービスができないか。

市長

公立大学は公約でもあるので長野県などの事例を調べている。少子化の中で大学経営が成り立つか慎重な見極めが必要。一度始めたら後戻りできないため、しっかり調査した上でアンケート等をとって議論を深めたい。

スクールバスについては伏木地区などでも同様の議論がある。市が独自にスクールバスを運行するのは経費や運転手確保の面で非常に難しい。ただ、既存の路線バスを「スクールバスのような路線バス」として一歩踏み込んで活用できないか、議論を進めている。

参加者

おとぎの森公園の遊歩道に穴が空いていたり、芝生広場が雑草だらけになっていたりするので対策してほしい。また、アジア系の観光客（シンガポール等）が多いが、英語の案内看板があれば助かると思う。あわせて、金沢などのように欧米系の観光客を呼び込む観光政策はあるか。

市長

穴ぼこ、雑草、英語看板については、担当部局に伝える。インバウンドに関しては、円

安の強みもあるため、今後はさらに観光政策を練る必要がある。高山市のようにターゲットを絞った売り込みがまだできていないのが現状。

参加者

東京から来た仕事関係者が「新高岡は駅から先のアクセス（バス等）が非常に悪い」と言っていた。金屋町などへ行く観光客や仕事で来られた人向けに、具体的な改善案を市としてもっと考えてほしい。

市長

新高岡駅からの二次交通が弱いと感じており、現在、担当者と一緒に対策を練っているところ。もう少し時間をいただきたい。

参加者

高岡には福岡の元旦マラソンや二上のトレイルランがあるが、ハーフやフルマラソンの大会（例えば出町杯など）をもう 1 つ作れば、経済効果や人を呼び込むブームに乗れるのではないかな。

市長

貴重なご意見。そうしたイベントへの思いも持っておきたい。

参加者

南条小学校は築 57 年で、国の耐用年数（47 年）を大きく超えている。防水や外壁の改修はありがたいが、中に入ると下駄箱、階段、トイレは私が通っていた昔のまま。志貴野中学校のように建て替える予定はあるのか。また、南星中学校では会議室や梁のクロスが剥がれている。統合整備に大金が動く一方で、地元校の内側のリフォーム（洋式トイレ化など含む）にもっと対応してほしい。

市長

建て替えについての明言は今の段階では難しい。ただ、指摘のあったクロス、下駄箱、黒板などの内側のリフォーム環境については、限られた財源の中ではあるが、なるべく良い環境にできるよう一度状況を確認してみたい。